



Musashi RED Programs

2025 年度
受講生募集案内

学校法人 根津育英会武蔵学園

目 次

ご挨拶	1
RED プログラムとは	2
講師紹介.....	3
iPad の使用について.....	3
RED プログラム 2024-2025 について.....	4
イブニングプログラム.....	4
Basicコース «主に中学 1 年生対象».....	4
Intermediate コース «主に中学 2 - 3 年生対象».....	5
Completion コース «主に中学 3 - 高校 1 年生対象».....	5
Advanced Program «主に高校 1 - 2 年生対象».....	6
サマープログラム.....	7・8
RED 現役生・卒業生からのコメント.....	9
申込み方法について.....	10
参加費について.....	11
プログラム開催地について.....	12
お問い合わせ先	12

■個人情報の取扱いについて

武蔵学園（武蔵大学、武蔵高等学校中学校）個人情報保護指針

本学園は、学生・生徒及び本学園に係わる方々の個人情報を保護するために、法令等を遵守し、指針を定め、個人情報を適正に取り扱うよう努めます。

1 個人情報の取得及び利用について

本学園は、適法かつ公正な手段によって、個人情報を取得し、利用目的の範囲内のみで使用します。

2 本人からの開示請求等について

本学園は、本人から自己の個人情報について、開示・訂正・利用停止等を求められた場合、速やかに適正な対応をします。

3 個人情報の管理について

本学園は、個人情報を正確に保ち、安全に管理します。そのために、教職員、学生及び生徒に対し、研修・教育を実施し、個人情報の適正な取扱いを徹底します。

4 個人情報の第三者提供について

本学園は、法令に定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく、個人情報を第三者に提供しません。

5 個人情報保護規程等の策定、維持、改善

本学園は、この指針を実行するため、「個人情報保護規程」とそれに関連する規程を定めるとともに、個人データ取扱台帳を作成し、継続的に改善します。

学校法人根津育英会武蔵学園 理事長
学園長



池田 康夫 / 学校法人根津育英会武蔵学園 学園長

武蔵高等学校・中学校には建学の三理想があります。『1、東西文化融合の我が民族理想を遂行し得べき人物 2、世界に雄飛するにたえる人物 3、自ら調べ自ら考える力のある人物 を育成すること』です。この三理想は 100 年余り前に作られたものですが、決して色褪せることなく、急激に国際化が進み、グローバル人材育成の必要性が叫ばれている現在においても非常に適切な教育理念であり、これ迄に数多くの有為な人材を輩出してきました。

武蔵学園では世界に雄飛し、国内外における諸課題の解決にリーダーシップを発揮できる人材育成を目標に、中高生を対象にした、『英語で科学を学ぶ』イマージョン教育である RED (Research, Essay Writing, Discussion) プログラムを 2014 年より始めています。

科学のいろいろなテーマについて、調べ、考え、論文にまとめる力を養うと共に、科学的な思考過程を身に付けるための英語プログラムを提供します。中学・高校で学んでいる英語を科学という興味ある学問の場で実践してみる良い機会にもなるでしょう。世界共通の言語である英語を習得する新しい試みとして生徒さんに大いに役立つプログラムであると確信しています。

授業は、科学のバックグラウンドを持つ外国人講師が担当します。講師は種々の工夫をし、生徒とのコミュニケーションを取りながら、英語で科学への理解を深めるよう授業を進めます。数学、物理、生物、化学、地学、天文学の他、医学、建築学、工学などに関連する様々なトピックスを題材に、生徒さんそれぞれが、自ら調べ、思考を巡らし、その結果を講師や仲間と英語で議論をします。それぞれのクラスには数名の外国人のティーチング・アシスタントがついており、授業を補助致します。このような「イマージョンプログラム」は外国語習得の効果的な方法として現在多くの国々で試みられています。

RED プログラムは武蔵高等学校・中学校の生徒さんに限らず、他校生にも門戸を広げ、参加を呼びかけています。このプログラムを通じて我が国から世界をリードする優秀な人材が数多く生まれることを心から期待しています。

RED プログラムとは

RED とは「Research, Essay Writing, Discussion」の頭文字を取ったもので、武蔵の建学の「三理想」を現代に生きる世代に向けて実践し、「科学的なものの見方」を育てます。受講生は世界共通の知の体系である「科学」を世界共通言語である英語で学ぶことを通じて、知性と教養を身に着けることを目指します。

9 月開講のイブニングプログラムと、夏期に集中して科学探究の楽しみを体験するサマープログラムの 2 つのプログラムで構成されています。



◆RED プログラムではどんなことを学べますか？

RED プログラムでは、生物や物理、化学をはじめとするさまざまな科学分野を学ぶ機会を提供します。また、偉大な科学者に共通する特性について、現代社会を形作った画期的な発見や発明のエピソードを通して学びます。これらの学びを通じて、受講生は批判的思考を養い、科学の広がりや社会への影響について深く理解することができます。

プログラムは、「Basic」、「Intermediate」、「Completion」、そして最上級である「Advanced Program」の 4 つのレベルに分かれています。レベルが上がるごとに、より深い内容を探求し、知識と分析力を段階的に高めていきます。

◆RED プログラムの授業と学校の授業の関係は？

RED プログラムは、受講生が学校で学ぶ科学と英語の授業の内容を補完し、その知識をさらに深める機会を提供します。受講生は、講師や仲間との英語でのコミュニケーションを通じて、科学的な概念を理解し、学力や批判的思考力を高めます。この英語のみの学習環境は、学校での学びを深化させるとともに、将来、国際的に活躍する力を与えてくれます。

また、このプログラムでは、受講生が自分の興味のあるテーマに集中することができ、独立した学びや知的成長を促進します。科学だけでなく、科学技術が社会に与える影響についても学び、将来、科学・技術、その他の分野でのキャリアに必要な知識とスキルを身につけることができます。

◆RED プログラムのティーチング・アシスタント

各クラスには 4～5 名の受講生に対して 1 名のティーチング・アシスタントが付きます。これらのアシスタントは、世界各国から日本に留学している大学院生や研究者であり、受講生たちは科学者としての彼らと直接交流し、異文化を日常的に体験することができます。



講師紹介



アカデミック・コーディネーター・講師 タン・ダット・ブォ Dr. Thanh Dat Vo

ベトナム国家大学附属英才教育高等学校にて生物学と英語を専攻し、早稲田大学大学院で博士号取得。



講師 ジェームス・カーサー James Cossar

トロント大学にて生物学を学び、外国人向け英語教育の経験豊富。日本の高等学校においても英語教育に携わる。



講師 アレックス・ケマ Dr. Alex Quema

デ・ラ・サール大学（フィリピン）にて物理学専攻、大阪大学大学院で博士号取得。国際バカロレアの DP 認定校にて教鞭をとる。



講師 ムハンマド・シャーハン Dr. Mohammed Sarhan

東京大学大学院医学系研究科で博士号取得。慶應義塾大学 健康マネジメント研究科 特任助教。



講師 マイケル・アリンズ・オグブゴ Michael Arinze Ogbugo

芝浦工業大学理工学研究科にて修士号取得(電気電子工学専攻)。



講師 ライアン・ベンラリビ Dr. Rayene Benlaribi

東京大学大学院医学系研究科で博士号取得（免疫学）。

iPad の使用について

本プログラムは、タブレット型コンピュータの iPad を使用します。予め、各自でご用意をお願いします。

iPad のタイプ（詳細は、ご受講決定後にご案内いたします。）

- Bluetooth が搭載されている iPad であれば問題ありませんが、なるべく新しいバージョンを推奨します。最新の iOS にアップデートできない場合、アプリケーションによっては全機能を使用できないかもしれません。
- 容量は、私用で動画や写真などを大量に保存するのでなければ、最少のもので問題ありません。
- 破損や傷等の防止のため、保護カバーの使用をお勧めします。



RED プログラム 2025-2026 について

【RED プログラムの構成】

① イブニングプログラム

9月から翌年6月までを1年とし、1学期(9月-11月)、2学期(1月-3月)、3学期(4月-6月)の3学期制です。週2回、放課後の6時半から8時半の2時間、江古田キャンパスで学びます。各学期の最終日には保護者の方も参観可能な発表会を開催します。

② 集中して科学の探求を楽しむサマープログラム・スプリングプログラム

長期休暇中の短期間、集中して科学を学びます。世界最先端の研究を行う科学者から直接講義を受けたり、海岸などへのフィールドトリップも予定しています。

中3以上を対象に、貴重な国際的な経験を提供する海外プログラムも実施します。協定校である英国ロンドンのKing's College Londonで医用生体工学を学ぶプログラムのほか、今年度はオーストラリアで海洋科学と保全について学ぶプログラムと春にアメリカのボストン大学で気候変動と人工知能を学ぶプログラムの実施を予定しています。

【イブニングプログラム】 2025年9月-2026年6月

週2回放課後に武蔵学園江古田キャンパスで行うプログラムです。授業を担当するのはサイエンスのバックグラウンドがある講師です。また全てのクラスで生徒5〜6名に1名のTeaching Assistant(TA)がつきます。講師が学期毎に選んだ科学領域のメインテーマを元に、生徒達は Research をし、Essay を書き、そして Discussion をします。

各コースの開講の曜日、時間は以下の通りです。

コース・プログラム名	授業日・時間	授業数
Basic/Intermediate	月・水 18:30-20:30	(1学期) 約20回 (年間) 約60回
Completion/Advanced	火・木 18:30-20:30	



Basic コース概要

▶対 象：主に中学1年生

▶定 員：25名

(目標) 科学に関係する英語の基礎を身に付け、与えられたトピックを自分で調べ、それについて簡単な文章を英語で書き、基礎的なディスカッションができるようになることを目指します。

(授業) 科学の幅広い分野をまず学びます。また科学者の伝記を読み、そこから科学の基礎的な考え方を知ります。その学びを通して生徒は自分が興味を持てる分野を探索します。

科学を直に感じ、さらに学びを深め、興味を持つような簡単な実験もします。



9月からの授業に先立ち、RED プログラムの授業に慣れるための準備コース「Ready for RED Program」(8月25日(月)-8月29日(金)、5日間 10時-12時)を予定しています。

Intermediate コース概要

▶対 象：主に中学 2-3 年生

▶定 員：25 名

（目標）科学の知識を広げると共に英語の 4 技能の基盤づくりをし、さらに科学の分野を深く学ぶ力を身に付けます。

（授業）Basic と同様、様々な科学に関するトピックを英語で学びます。科学に関する文章を読んだり、Essay Writing の基本の型を学び、その型をもとに論理的に自分の意見を書くことに挑戦します。プレゼンテーションの基本的な態度や型も修得し、各学期末の発表会では英語で発表も行います。



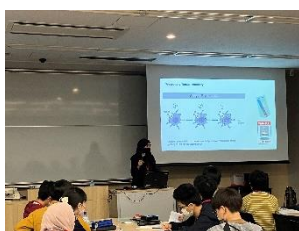
Completion コース概要

▶対 象：主に中学 3-高校 1 年生

▶定 員：25 名

（目標）RED プログラム レギュラーコースの最終年度として、生徒は自分の興味あるトピックを自ら調べ、調べたことを自分の言葉で論理的に書き、仲間と議論をし、最終的に自分の言葉で発表できるレベルを目指します。

（授業）地球、原子、アルゴリズム、AI、微生物等、幅広い分野を学びつつ、英語と科学への興味を最大限に引き出していくように指導します。各学期、生徒は共通テーマについて英語で学習し、議論します。その後、個人のリサーチクエスチョンを選び、英語で調べ、個人で明確かつ自信をもって発表するプレゼンテーションスキルを磨きます。



【RED Advanced program】

▶対 象：主に高校 1-2 年生

▶定 員：15 名

▶概 要：英語で科学をさらに深く学びたい生徒、科学的なテーマについての研究を深めたい生徒、より高度な英語力を身に付けたい生徒、将来海外進学も考えている生徒などを対象とした、RED プログラムの「最上級コース」です。

数字やデータに基づく考え方を学び、様々な文献を読み、リサーチトピックを自ら調べ考え、決定。最終学期には、自分の興味ある分野に関して英語で論文を書き、発表を行います。

また以下の学びの場も準備します。

- ① 各分野のトップクラスの専門家による講演・ディスカッションの機会や、現役科学者であるメンターによる個別指導など、学術的(Academic)な材料、知的刺激を得る場
- ② 海外進学に関する実用的(Practical)な知識、情報の入手、リサーチスキルの習得

Advanced プログラムは、準備コース「Pre-Advanced Program」(8 月 25 日(月)-8 月 29 日(金)、5 日間 基本の授業時間 10 時-13 時) から授業がスタートして、9 月からは週 2 回(火・木)の授業となります。



【サマープログラム・スプリングプログラム】

RED プログラムのサマープログラムは、フィールドトリップや様々なアクティビティも取り入れた普通の学校の授業とは違う体験型のプログラムです。生徒一人ひとりが自分の関心のあるテーマについて研究し、それぞれのプログラムの最終日に研究成果を発表します。サマープログラムだけの参加も可能です。

2025 年度の宿泊を伴うプログラムについては、オーストラリアでマリンサイエンスを学ぶプログラムと、武蔵学園 RED プログラムと 2023 年 11 月に協定を締結した英国 King's College London での海外サマープログラム（11 日間）を開催します。（募集締切は、2025 年度の英国 King's College London のプログラムは、4 月 14 日正午まで。オーストラリアのプログラムは 4 月 18 日まで。RED プログラム HP をご参照ください。）

また、2026 年 3 月にボストン大学でスプリングプログラムを初めて開催する予定です。（中 3 以上対象、募集は 9 月以降を予定）

プログラム名	対象	日程	内容
コース① Micro Plastics and Environment(国内)	主に中学 1～2 年	7 月 21 日(月) } 7 月 25 日(金) (5 日間) 10:00-16:00	海洋生物学と環境科学について学びます。海洋研究開発機構（JAMSTEC）の元上席研究員の指導のもと神奈川の海岸で MP 採取、調査をするフィールドトリップもあります。
コース② <NEW> Artificial Intelligence in Science(国内)	中学 2 年生 以上	7 月 21 日(月) } 7 月 25 日(金) (5 日間) 10:00-16:00	さまざまな科学分野でのデータ分析、研究、問題解決における AI の可能性を探索する。プログラムには、理化学研究所を訪問し、ニューラルネットワークや現在進行中の研究について学ぶ体験も含む。
コース③ King's College London で科学を学ぶ RED 海外サマープログラム （株）エスティーエートラベル 受注型企画旅行 （応募締切：4 月 14 日正午）	渡航時 15 歳以上	7 月 25 日（金） } 8 月 4 日(月) (11 日間) ＊上記日程前に 事前学習あり	医学・工学・生物学そして AI といった複数の学問領域で構成される Biomedical Engineering をテーマに、King's College London の教授による講義や 3D プリンターや AI を体験する実習を通じてテクノロジーが様々な地球規模課題をどう解決できるかについて考えるプログラム。 大学寮に滞在し、現地学生との交流することができる。
コース④ <NEW> オーストラリアでマリンサイエンスを学ぶ RED 海外サマープログラム （株）エスティーエートラベル 受注型企画旅行 （応募締切：4 月 18 日）	原則 中学 3 年生 以上	8 月 16 日(土) } 8 月 24 日(月) (9 日間) ＊上記日程前に 事前学習あり	オーストラリア東海岸の海洋生物相に触れながら、海洋環境や生態系について、フィールドワークや実習を通じて楽しみながら学ぶ。プログラムの後半には、地元の家庭でのホームステイも体験できる。

ゲスト講師による講義：

Micro Plastics and Environment

「考えよう、海岸から地球の未来！」

元国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）上席研究員 加藤 千明 Ph.D.他

毎年約 800 万トンのプラスチックが海洋に流出していますが、その多くは最終的には深海に蓄積し、海の生態系に深刻な影響を及ぼしています。本講座では、海岸に出てマイクロプラスチック調査を行い、得られたサンプルを材料に比重実験や顕微鏡観察を通して、今の海の現状を学び未来の地球について議論します。

Artificial Intelligence in Science

「脳の残り半分の正体：グリア細胞/Glia: The other half of brain」

理化学研究所脳神経科学研究センター チームディレクター 長井淳 Ph.D.

私たちの脳には少なくとも 2,000 億個の細胞があり、それらが結びついて脳のネットワークを作っています。皆さんがよく知るニューロンは半分以下で、残りの多くを占める「グリア細胞」は長らく脇役と考えられ、研究が 100 年以上遅れていました。しかし近年、記憶や学習、脳の健康維持に重要な役割を果たしていることが明らかになり、注目を集めています。この講演では、グリア細胞研究の歴史と最前線を紹介し、脳の理解がどのように進んできたのかを探ります。また、グリア細胞の仕組みを知ることによって、現在の AI の限界を超え、新たな AI 開発につながる可能性についても考えます。脳研究の裏側を知らながら、未来の科学と技術について一緒に考えてみましょう。

RED 卒業生からのコメント

私は高校 1 年から 2 年にかけて 1 年間アドバンスクラスで学びました。それまで学校の英語の授業だけでしか学んでこなかったので、科学的なトピックを全て英語で議論し、毎授業ごとに大量のライティング課題が出る RED の環境は、最初のうちは本当に大変でしたが、だんだんとできるようになっていきました。そのおかげもあって、ブラウン大学のサマーキャンプに参加したり、国際天文学・天体物理学オリンピックに日本代表として参加したりした際に、躊躇なく会話して、アカデミックな内容を世界中の人たちと深めることができました。RED での学びはみなさんが留学して学ぶ際に日常会話だけでなく学問的なレベルで必ず役に立つでしょう。（武蔵高等学校 98 期 東北大学在学中）

私は RED を Basic から Advanced まで、4 年間学びました。私が海外で学ぶ中でつくづく思うのは、私の恩師が言っていたように、RED は世界中の高校生や大学生に劣らない学びをしており、この学びは必ず自分自身、そして日本の近い将来に役立つということです。具体的に、RED では「英語を学ぶ」のではなく、「英語で何かをする」ことを身につけることができ、私はこれが現代日本に最も必要な考えで、さらにこれを中高在学中に習得できるのはとても貴重で革新的だと思います。私は RED で効率的に楽しく学ぶことを覚え、自然と英語力も向上しました。また、RED の講師や TA は本当に優しく、英語が辿々しくてもしっかりと理解・サポートしてくれるので、ぜひ RED に入り、積極的に講師や TA と話し、そして「継続」してください！継続していく中で自らの成長を感じる瞬間が必ず訪れます！（武蔵高等学校 98 期 University of Western Australia 在学中）

私は中学一年生から約 2 年間 RED プログラムを受講していました。英語で考え、話すことは簡単なことではありませんでしたが、素晴らしい先生や TA に恵まれ、楽しく英語を身につけることができました。RED プログラムの授業で英語で考え、調べ、発表することを繰り返すうちに英語力に自信が付き、留学する決心ができました。中学 3 年生からニュージーランドの現地校に通い高校を卒業し、昨年からは現地の大学に在学中です。高校の授業でも英語に困ることなく単位を取得して大学へ入学できたのは RED プログラムでの経験があったからです。皆さんも RED プログラムを通して英語力に磨きをかけてください。（RED プログラム参加時の学校名：筑波大学附属中学校・Auckland University of Technology 在学中）

申込み方法について

申込みおよび選考

		日 程	内 容
イブニング プログラム	お申込み	4月12日(土) - 5月26日(月)必着	参加申込書（ホームページからダウンロードできます）に 必要事項をご記入の上、「簡易書留」で RED プログラム推進 センター宛に郵送してください。
	選 考	6月6日(金) または 6月7日(土) 結果通知：7月初旬予定	受講の意欲などをみる目的で、作文*1の提出と模擬授業を 受けて頂きます。その結果により受講の可否を判断します。 選考の日時、結果の通知はメールで連絡いたします。
サマー プログラム (国内)	お申込み	4月12日(土) - 6月9日(月) 必着	イブニングプログラムとサマープログラム両方 を同時に申し 込む場合は、上記イブニングプログラムの申込日程に従って 必要書類をご提出ください。左記日程は サマープログラムの み のお申込み、またはイブニングプログラム申し込み後に追加 でサマープログラムを申し込む場合の日程になります。 参加申込書に必要事項をご記入の上、作文*2とともに「簡 易書留」で RED プログラム推進センター宛に郵送してくだ さい。

*1作文は、Basic は日本語、Intermediate は日本語と英語（継続生は英語のみ）、Completion と Advanced は英語になりま
す。RED プログラムに新規に応募される生徒には、模擬授業と同じ日に選考会場にて、制限時間内で作文を書いていただきます。

*2サマープログラムの作文は日本語でお書きください。

申込みに必要な書類

- ・Musashi RED Programs 2025 参加申込書（所定用紙/イブニング・サマー共通）
- ・作文(サマープログラム(国内)申込の方のみ。イブニングプログラム申込の方は選考時にご記入いただきます)

★現在 RED イブニングプログラムを受講している受講生の方には、RED プログラム授業内で申込みに必要な書類をご案内いたします。（現イブニングプログラム受講生は、通常作文のみで進級可否を判断しますが、担当講師の評価により、面接を実施する場合があります。面接が必要な受講生には、書類受付後に連絡します。）

申込書の送付先

〒176-8533 東京都練馬区豊玉上1-26-1

学校法人根津育英会武蔵学園 「RED プログラム推進センター」宛



参加費について

【サマープログラム】(国内)

プログラム	参加費	参加費納入期間
Micro Plastics and Environment	80,000 円 ^{*1}	7 月 7 日(月)-7 月 14 日(月)
Artificial Intelligence in Science	80,000 円	7 月 7 日(月)-7 月 14 日(月)

^{*1} 参加費には、フィールドトリップの交通費(往路は各自負担、復路のバス代のみ)が含まれています。

「オーストラリアでマリンサイエンスを学ぶ RED 海外サマープログラム」の参加費は、株式会社エスティーエトラベルの募集案内をご覧ください。

【イブニングプログラム】

プログラム	参加費 ^{*2}	参加費納入期間
Basic コース	360,000 円 ^{*3}	7 月 14 日(月)-7 月 28 日(月)
Intermediate コース	300,000 円	
Completion コース		

^{*2} すべてのイブニングプログラムの参加費には、教材費 10,000 円が含まれます。

^{*3} 8/25~8/29 開催予定の準備コース「Ready for RED program」の参加費を含みます。Basic コースの受講生は、必ず受講してください。

【Advanced Program】

プログラム	参加費 ^{*4}	参加費納入期間
Advanced Program	400,000 円	7 月 14 日(月)-7 月 28 日(月)

^{*4} 参加費には、教材費 10,000 円が含まれます。

^{*5} Advanced プログラムは 8/25~8/29 開催の Advanced Program 準備コースから授業がスタートします。

参加費の納付

参加費の納付先は、選考後受講が決定しましたらご案内します。上記納入期間にお振込みください。

キャンセルポリシー

【サマープログラム(国内:Micro Plastics and Environment, Artificial Intelligence in Science の 2 コース)】

^{*}海外サマープログラムのキャンセルポリシーは各プログラムのチラシ(募集要項)をご確認ください。

サマープログラムの前日までに参加を取消される場合は、サマープログラムの参加費は全額返金します。サマープログラム開始日以降に取消の場合には、返金いたしません。

【イブニングプログラム】

今年度初めて RED に入られる受講生のみ第 1 学期を「トライアル期間」とします。1 学期中もしくは 1 学期を終了後から 2 学期が始まる前までに RED プログラム推進センターへ退校される旨をお申し出の場合に限り 2 学期・3 学期分の参加費を返金いたします。それ以外のケース (2 学期以降に辞める場合、前年度から継続の RED 受講生の場合など) は返金いたしません。



プログラム開催地について

武蔵学園江古田キャンパス（東京都練馬区豊玉上 1-26-1）



- 西武池袋線「江古田駅」より徒歩 6 分
- 西武池袋線「桜台駅」より徒歩 8 分
- 都営大江戸線「新江古田駅」より徒歩 7 分
- 西武有楽町線「新桜台駅」より徒歩 5 分
- 中野駅より関東バス江古田駅行「江古田駅」下車徒歩 5 分
- 高円寺駅より関東バス・国際興業バス赤羽駅行「豊玉北」下車徒歩 5 分
- 目白駅より都営バス練馬車庫行「武蔵大学前」下車徒歩 0 分

■ お問い合わせ先

根津育英会武蔵学園 RED プログラム推進センター

〒176-8533 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

（開室時間 9:00～17:00 土日祝日休み）

TEL : 080-9527-2681

- ・プログラムに関するご質問は、RED プログラムホームページの問い合わせフォームにて、下記の QR コードまたはリンクからお送りください。



https://www.musashigakuen.jp/torikumi/red/toiawase_red.html

- ・今後の募集や説明会等に関する情報については、随時ホームページを更新していきます。こちらもぜひご覧ください。

